



みんなの 突撃インタビュー！

福井県済生会病院 編

「ボランティアさんは病院と 患者さんの“かけはし”」

今回は、福井県済生会病院の佐竹さんと脇さんに、ボランティア活動の様子をインタビューしました！



▲演奏ボランティアの様子

◀福井県済生会病院
ボランティア担当の
佐竹さん(左)と脇さん(右)

Q どんなボランティア活動がありますか？

A 外来での受付補助や誘導、入院案内や入院中の患者さんを対象にした院内デイサービスでのレクリエーション等のお手伝いのほか、楽器演奏など、ボランティアさんの特技を活かした活動があります。

Q 活動時間は決まっていますか？

A 祝日を除く、月曜日から金曜日の午前中の活動が主ですが、院内デイサービスなど、14時から16時までの活動もあります。回数や頻度、時間帯は、ご自身のご都合にあわせて活動可能です。

Q ボランティアさんへメッセージを！

A 当院では、一日平均50名と多くのボランティアさんが活動しています。年2回ボランティアさんの交流会(新年会、お茶会)もあり、活動についての提案をいただくことで、より良い病院づくりにもつながっています。

温かく迎えてくれるボランティアさんは、不安を持って来院される患者さんにとって安心できる存在になっています。気負わず、ぜひ一度お問い合わせください。

ボランティア活動の希望や問い合わせなどは、下記までお気軽にご相談ください！

<お問い合わせ>

福井県済生会病院 よろず相談外来(和田中町舟橋 7-1) TEL 28-1197(直通)(担当 佐竹さん)

ボラさんぽ...



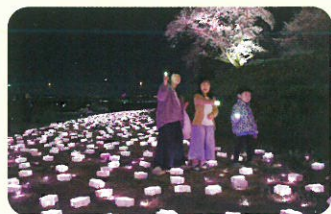
「ゆっくりと・できることを。少しでも」

～利用者が桜のあかりプロジェクトへ参加～

介護保険事業所トゥモロズリハビリテーショングループ(若杉1丁目)では、「みんなでつくる桜のあかりプロジェクト」に昨年から参加し、同グループが運営しているリハビリセンタータートルと、トゥモロズホームリハビリセンターで関心のある方々(約10名)が、紙さくらの型紙を切り貼りし、組み立てています。

昨年、事業所として利用者の自立支援のため、何か社会参加活動やボランティア活動に取り組みたいと情報を探していたところ、今回の活動や認知症理解啓発キャラクターロバ隊長のマスコットづくりの情報を知ったのが活動の始まり。環境を整えることで、無理せず、できることから活動しようと、少しずつ取り組んでいます。

今回「紙さくら」作りに参加された方は、以前は保育士だったり、趣味で洋裁をしていた方や地域でボランティア活動をしていた方々で、職員とおしゃべりしながら約1時間かけて完成させました。集中して作業していたので、少しお疲れになった様子の方もいましたが、感想を聞くと「ゆっくりならできるわ」「貼り合わせるのが少し難しかったけど楽しかった」「喜んでくれる人がいるのが嬉しい」と話してくれました。また、「持って帰って家で色を塗ってくるわ」と活動に意欲的な方もおられました。事業所の担当職員も、フロア内で作業したり、仕上がった「紙さくら」を飾ると関心をもってくれる方もいるので、慌てずに1枚ずつ、利用者ご自身のペースで取り組んでいきたいとのことでした。



▲昨年のライトアップの様子
ライトをつけた「紙さくら」を並べてライトアップ



▲ボランティア活動の様子

みんなでつくる桜のあかりプロジェクト「紙さくら」の募集について詳しくは、3ページをご覧ください。